

松風ディスク HC

【禁忌・禁止】

不正咬合やブラキシズム（クレンジング、グラインディング）の習癖を伴う症例への適応はしないこと。

*【形状・構造及び原理等】

【構成】

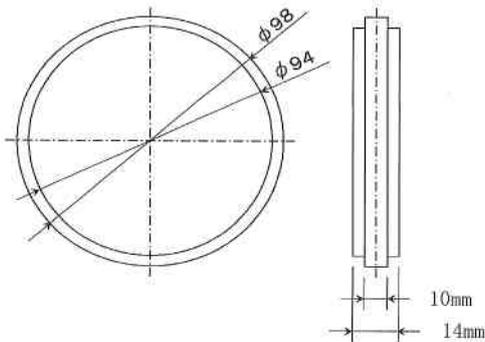
1) 成分

性状	成分
硬化物	UDMA、TEGDMA、シリカ粉末、微粒子けい酸、ジルコニウムシリケート、着色材、その他

2) 色調：6色

ロートランス色（3色）	A2-LT, A3-LT, A3.5-LT
ハイトランス色（2色）	A2-HT, A3-HT
エナメル色（1色）	59

* 3) 形状：T14-S（φ98×14mm）



【原理】

本材は、加圧成型したコンポジットレジン製ディスクで、歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットで切削加工する。

【使用目的又は効果】

歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニットとともに、歯科高分子製補綴物の作製に用いる。

【具体的用途】

前臼歯ジャケット冠、インレー、アンレー、ラミネートベニア、インプラント上部構造体等の歯冠修復物に用いる。

【使用方法等】

【本材と併用する材料】

- ・ 歯科セラミックス用接着材料：「松風ポーセレンプライマー」
- ・ 高分子系歯冠用着色材料：「ライトアート」
- ・ 歯冠用硬質レジン：「セラマージュ」
- ・ 歯科接着用レジンセメント：「レジセム」
- ・ 歯科レジン系補綴物表面滑沢硬化材
- ・ 歯科用研削・研磨材

【本材に使用する機械及び器具】

- ・ 歯科技工室設置型コンピュータ支援設計・製造ユニット
- ・ チェアサイド型歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニット

【使用方法】

以下に具体例として、歯科用コンピュータ支援設計・製造ユニットによる補綴物の作製について記載します。

1) スキャニング

スキャナによる支台歯模型の計測、もしくは光学印象採得装置による修復部位の光学撮影を行います。スキャナ及び光学印象採得装置の使用方法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。

2) 加工用データの作成

スキャンデータを基に、ソフトウェア上で修復物のモデリングを行い、加工用データを作成します。

3) 加工

本材をミリングマシンに設置し、加工用データを用いて加工を行います。ミリングマシンの使用方法については、附属の添付文書、取扱説明書に従うこと。

4) 余剰部分の削除

加工完了後、余剰なレスト部分を削除します。

5) 形態修整

通法により研削材を用いて形態修整を行います。

※必要に応じて、高分子系歯冠用着色材料による着色、歯冠用硬質レジンによる追加築盛を行います。

6) 最終研磨

通法により艶出し研磨を行います。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、コンポジットレジン製 CAD/CAM 用被切削材料であるため、専用の切削器具を使用すること。
- 2) 合着、追加築盛、キャラクタライズを行う場合は、使用する製品の添付文書を確認し、歯科セラミックス用接着材料による表面処理を行うこと。
- 3) インレー/アンレーは、アンダーカットを残さないように窩洞形成を行い、窩洞壁のテーパは歯軸に対して 3~5° に設定し、窩洞内部のエッジ部分や角は丸みを持たせること。また、咬合面は 1.5mm の厚みが確保できるように削除すること。
- 4) ラミネートベニアは、アンダーカットを残さないように支台歯形成を行い、唇側面は 0.4~0.6mm、切端の唇側-舌側間は 0.5~1.5mm の厚みを確保できるように削除すること。また、マージン部は歯肉縁上に設定すること。
- 5) 前臼歯ジャケット冠に関しては、軸側壁は歯軸に対して 3~5° のテーパを設定し、少なくとも 1.0mm の厚みが確保できるように削除すること。切端および咬合面の形成は、少なくとも 1.5mm の厚みが確保できるように削除すること。舌側のコンタクトエリアにおいては、ショルダーは 1mm の長さを確保できるように形成すること。また、線角は充分に丸めること。
- 6) 口腔内への接着は、修復物の接着面に 0.2~0.3MPa の圧力で約 10 秒間のアルミナサンドブラスト処理後、接着用レジンセメントにより行うこと。

【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ① 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ② 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- ③ 本材への研磨作業の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。

2) その他の注意

完成して、患者に装着した修復物は、食習慣等にかかわって口腔内で表面着色したり、プラーク付着することがあるため、患者に対し口腔内の日常清掃を指導すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・本材は、高温、多湿、直射日光を避けて保管すること。
- ・本材は歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

※(例  YYYY - MM - DD は→使用期限 YYYY 年 MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 滋賀松風
電話番号 0748-83-0016

製造業者 株式会社 松風

販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町 11
電話番号 075-561-1112